

2021年9月27日

学生、保護者の皆様

大阪工業大学
学長 益山 新樹

学費に関するお問い合わせについて

新型コロナウイルス感染症の拡大により、学生、保護者の皆様をはじめ日々の生活に多大な影響を受けておられる皆様には心からお見舞い申し上げます。

大阪府では2021年9月30日（木）まで「緊急事態宣言」が延長され、本学は2021年度後期授業実施体制を10月7日（木）まで一部科目（卒業研究や大学院研究活動、実験・実習科目および各学部が指定する科目）を除き、オンライン授業とすることとなりました。

このような状況下において、一部の在学生および保護者の皆様から、通常の対面授業が行えない状況の中での学費に関するご質問をいただいています。そこで、大阪工業大学の学費の考え方をお伝えいたします。

大学は、教育・研究を実施するために高度な施設や設備の維持が求められております。学部生には学士号を、大学院生には修士号および博士号をそれぞれの修業年限で授与するに足る教育を提供することは元より、その教育効果を相乗的に向上させる研究環境も整備・維持する必要があり、多くの費用が必要になります。

現在の教育環境は、これまで学費を納めていただいた多くの卒業生たちが支えてくれたものでもあり、これらの施設や設備は一人の学生の在学期間中だけでなく、未来の新入生が長期間使用するものです。大学では、これら長期にわたって使用する施設の建築・維持や設備の導入・維持にかかる費用を学費として納めていただいています。

このため、新型コロナウイルス感染症によるオンライン授業に必要な設備強化や奨学金、支援金の充実や新棟の建設など、各年度で行う事業により当該年度に在籍する学生の学費が上下することはありません。また、教育・研究力を維持するために、コロナ禍においてもキャンパスの各種設備の更新や維持管理、図書館など教育支援施設の学術書・電子ジャーナルの更新は日々実施する必要があります。

これらを踏まえ、大学の学費には、このような背景がありますこと、ご理解くださいますようお願い申し上げますとともに、学生のみなさんが安心して教育・研究活動を実施できるよう、引き続き対応してまいりますので、ご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

以上